

ステータス:	終了	開始日:	2013/01/26
優先度:	通常	期日:	2013/01/27
担当者:		進捗 %:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:		作業時間の記録:	0.00時間
説明			
状況(2013.01.27)			
V6.31にて対応済み。 (原因) データのリスト構造を頼りにシーク位置決め判断を実施しているため、AAAとBBBの間にまったくデータが存在しない場合、AAAに位置決めされた状態と、AAAとBBBの間に位置決めされた状態を、シーク処理モジュールからは全く同一に見えてしまっていた。 そのため、後者であっても前者と同様の演算結果となっていた。 本件は、MARK文初期提供時点からの潜在バグ。 (対処) 時刻情報で制御することも考えたが、MARKが同一時刻に存在する場合に処理が複雑になるためMARK文の間にデータが一切存在しない状況においては、データロード時点で位置決め用のダミーデータを挿入することとした。			
概要(2013.01.26)			
以下の様なデータにおいて、シークつまみをAAAとBBBの間に位置決めした状態でシークバーの左黒三角ボタンを押下すると本来、AAAの位置にシークすべきところが、曲頭までシークしてしまう。 _1 *MARK"AAA" _1 *MARK"BBB" _1			
関連するチケット:			
関連している Release # 164: Muse V6.30		終了	2013/01/08